

交渉情報	NO.25	日本郵便信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組信越地方本部	2019年10月24日	添付資料:89枚

2019年度りんごゆうパック引受に対応する増強便の設定について

日本郵便（株）信越支社郵便・物流オペレーション部は、本日（10月24日）「2019年度りんごゆうパック引受に対応する増強便の設定」について地方本部に説明してきました。

標記概要は、長野県各地域における「りんごゆうパック」の取扱物数増加に対応するため、臨時運送施設を設定し、円滑かつ効率的な運送を確保するものです。

今年度については、分室を8ヶ所、集積所を7ヶ所開設し各地域の対処にあたるとしています、分室および集積所については支社資料別紙1を参照願います。

別紙2では、年末期差立（りんご）オペレーション作業内容を示しており「1. 地域区分拠点（分室）の設置、2. 集積所等へのゆうパック集約、3. 集積所等における事前区分と輸送、4. 運送便の設定と役割、5. 運送便に関する遵守事項、6. 一般局及び地域区分局における航空危険物の品名確認・外装確認、7. 分室別の全国差立地域及び航空搭載差立地域、8. 安全管理の徹底、9. その他」について記載されています。

別紙3では、「地域区分拠点（分室）の設置」に伴う「りんごゆうパック差立オペレーション計画」が38・39地域ごとフローで示されています。

別紙4（支社資料②）では、各分室の輸送容器作成方が示されています。

運送便については支社資料③を参照願います。なお、ピークがずれた場合は分室の開設期間、運送便の延長もあり得るとしています。

地本では、予定取扱物数を資したところ、当初は昨年比78.3%の74.4万個を想定していましたが、台風19号の被害により当初想定額の87.4%の65万個と想定しています。しかし、これはあくまで10月18日時点で把握した個数であり、被害状況等で変わる可能性があるとしています。

運送便については、65万個を想定して設定しています。

【労使対応】 当該局における単局窓口